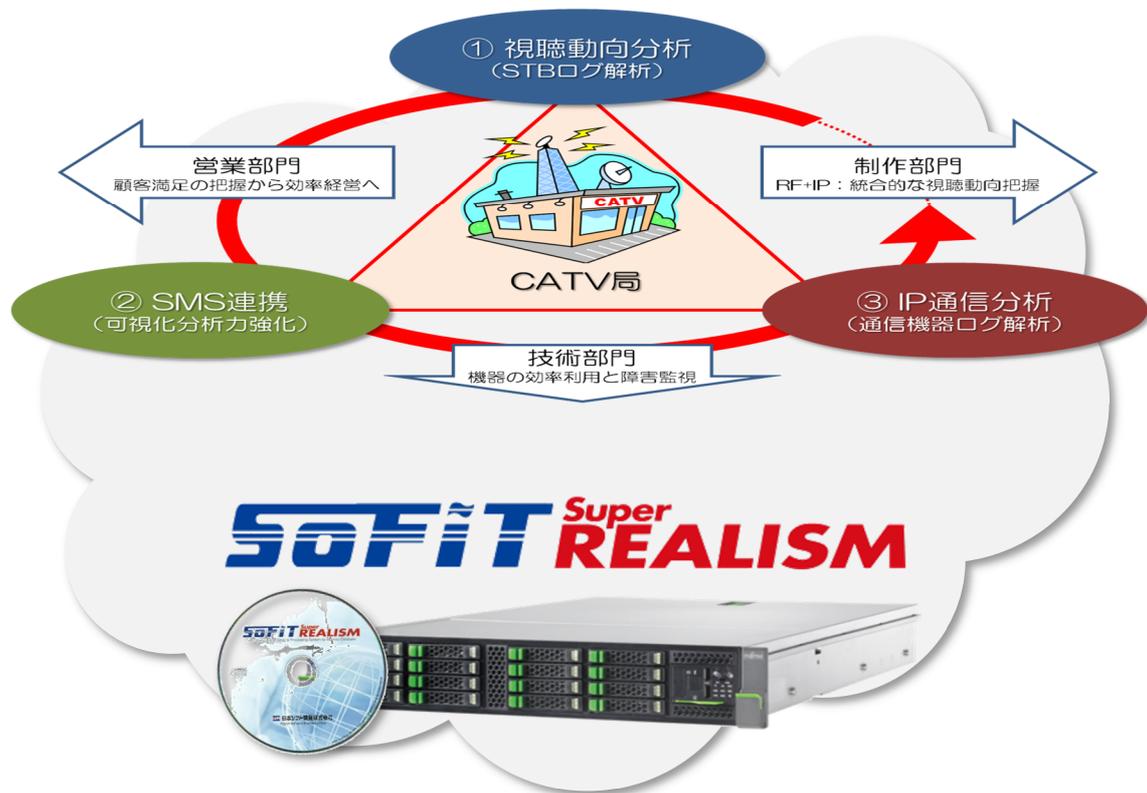


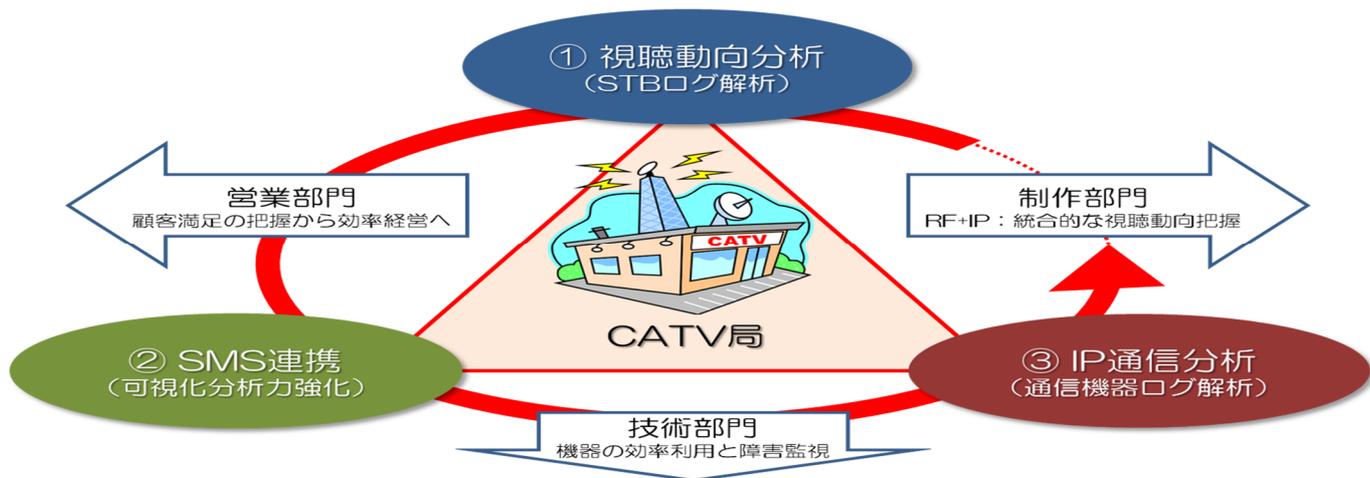
CATV局のためのビッグデータ処理プラットフォーム 「Super REALISM for CATV」

CATV局に求められるビッグデータ課題をサクッと解決！



NSK 日本ソフト開発株式会社

CATV局に求められる3つのビッグデータ課題を “Super REALISM for CATV” がサクッと解決！



① 視聴動向分析 (STBログ解析)

番組編成や番組価値、広告枠や番組仕入れコスト適正化の為にそのエビデンスとなる視聴動向データが必要となります。Super REALISM for CATVには、データ分析に不慣れな方にも簡単に視聴動向分析を行って頂くための専用サブプログラムをバンドルしております。

都市部のCATV局

有料チャンネルの普及と仕入適正化

地方のCATV局

コミチャンの価値適正化

パッケージ内容

- Super REALISM
- 視聴動向分析サブプログラム
- 可視化ツール用フォーマット
- 操作指導

② SMS連携 (柔軟性向上・改変コスト削減)

多くのCATV局が導入しているSMS (加入者情報管理システム) ですが、基本的に単独での運用を想定したシステムであり顧客管理や営業管理等の他システムとの連携は簡単ではありません。また、新規サービス開始等の改変についても全てベンダーに依頼することになりそのコストも馬鹿になりません。Super REALISM for CATVを使えば、どなたにでも簡単にEUC (エンドユーザーコンピューティング) 化が可能となります。



③ IP通信分析 (通信機器ログ解析)

WebやSNSを始めVODや地上波局によるネット再放送等のOTTサービス (IP系サービス) の普及に伴い、テレビの視聴スタイルは大きく変化しております。また、改正個人情報保護法では「匿名化」さえ出来れば通信ログの二次利用も可能になりました。そこで、多様化する視聴形態に対応していくためには通常のRF系ログと共に巨大になりがちなIP系ログを統合的に加工・分析していく必要があります。Super REALISM for CATVであれば、これら巨大なビッグデータも簡単かつ超高速に処理可能です。

OTT等IP系動画サービスが急速に普及

RF系の視聴動向分析だけでは不十分

RF系とIP系サービスを統合した分析が必要

IP系のログは膨大なサイズとなる

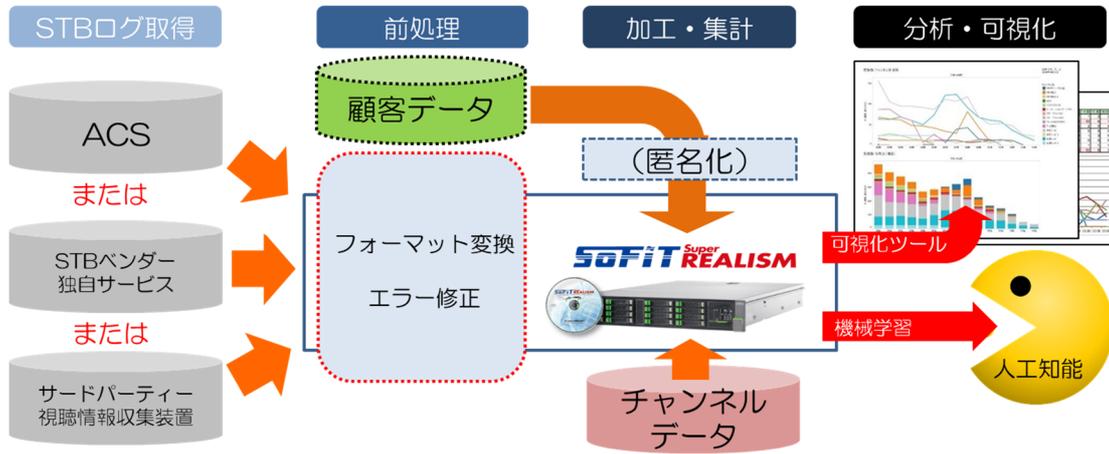
高速なビッグデータ加工・分析環境が必要

RF系 (STB)

IP系 (VOD、Web、SNS等)

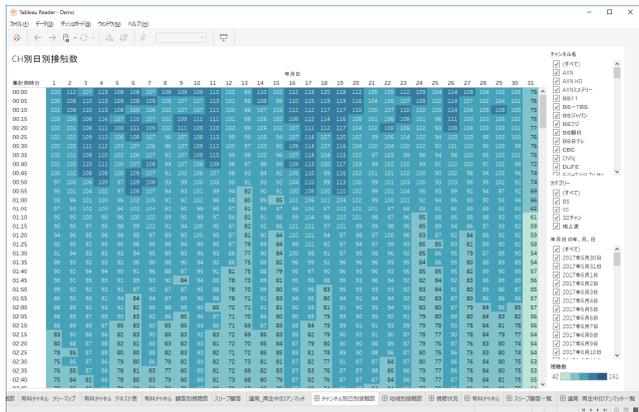
統合視聴動向データ

■ 視聴動向分析処理のイメージ



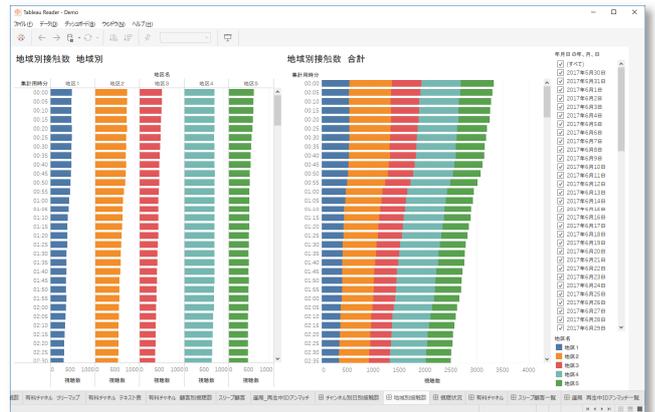
■ 視聴動向可視化のイメージ

チャンネル別日別接触数



番組編成の検討、制作費適正化

地域別接触数



地区別の反応調査、広報展開の検討、自治体との協業等

視聴状況 折れ線グラフ



編成や制作費の適正化、広告枠分析、スポンサーとの価格交渉

有料チャンネル ツリーマップ



有料チャンネルの貢献度、コースプラン検討に活用

スリープ顧客

顧客番号	姓	名	STBID	最終視聴日	
26	枝川	裕吏	19105580004	2017/07/05	1
27	久場	安展	19105580010	2017/06/13	2
37	金刺	孝	19105580015	2017/06/17	3
55	沢渡	昌行	19105580017	2017/07/07	4
59	双木	安志	19105580019	2017/06/27	5
77	門別	将至	19105580018	2017/07/26	6
88	善	規雅	19105580016	2017/06/06	7
109	向林	二期	19105580011	2017/07/27	8
125	加味	美都代	19105580019	2017/07/28	9
129	隣場	いち子	19105580015	2017/07/21	10

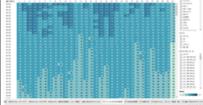
一定期間STBの電源を入れていないユーザーをリスト化することで解約のリスクを事前に察知

選局_再生中IDアンマッチ

No	選局_再生中ID	
1	00000000	1,239,562
2	00000001	10
3	00000002	10
4	00000003	10
5	00000004	2
6	00000005	10
7	00000006	10
8	00000007	13
9	00000008	26
10	00000009	41
11	0000000a	25
12	0000000c	31
13	0000000d	19
14	0000000e	19

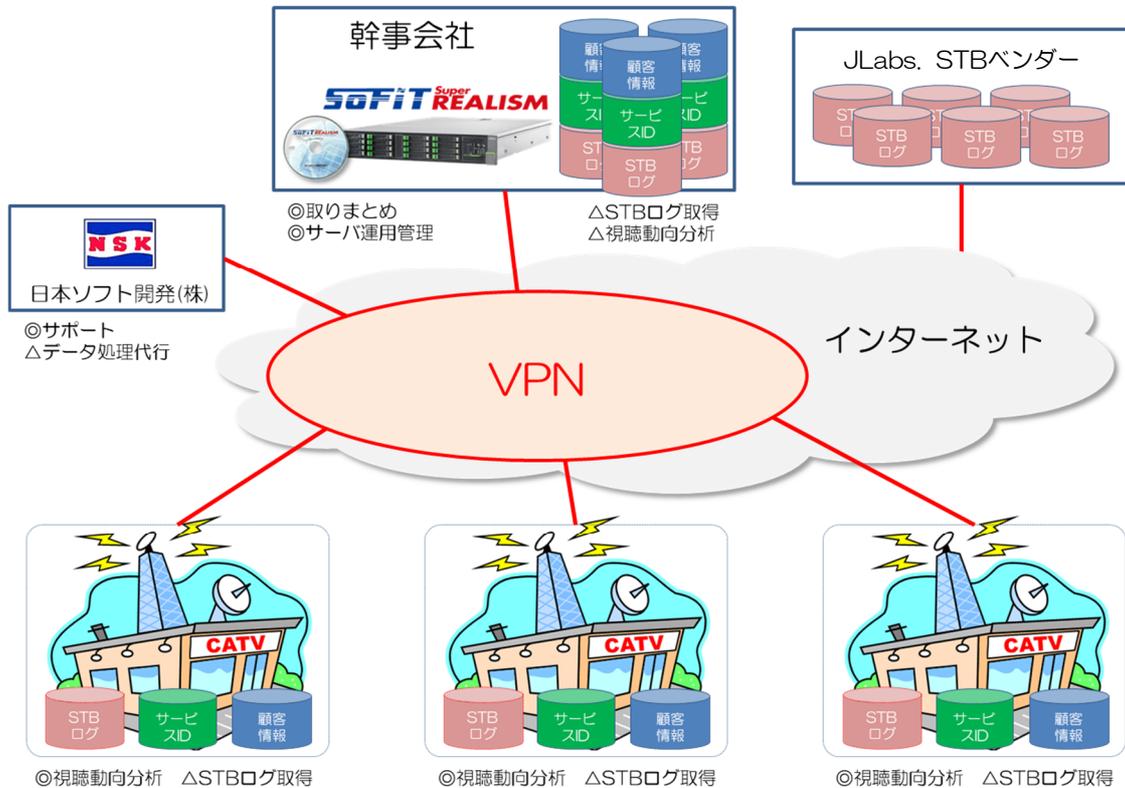
サービスID一覧に含まれていない等、分析対象になっていないものを把握し、取得ログの有効性評価や分析方法を改善

■視聴動向分析に於ける個人情報の扱い

処理（可視化）名	データファイル	STBログ			顧客データ				サービスID		番組表			
	主要項目（黄色は個人情報）	STB ID	日時	チャンネルID	STB ID	契約者名	地区名	住所	連絡先	チャンネルID	チャンネル名	日時	チャンネル名	番組名
チャンネル別 日別接触数			○	○						○	○	△	△	△
視聴状況 折れ線グラフ			○	○						○	○	△	△	△
地域別接触数		○	○		○ (匿名化可能)		○							
有料チャンネル ツリーマップ			○	○						○	○			
スリープ顧客		○	○		○ (匿名化可能)	○ (匿名化可能)		○ (匿名化可能)	○ (匿名化可能)					
選局_再生中ID アンマッチ				○						○	○			

(※) STBログ内のSTB IDと顧客データ内のSTB IDが容易に照合可能な場合には、STBLOGも個人情報と同等に扱う必要があります。

■共同利用のイメージ



日本ソフト開発株式会社

地域主権システムプロジェクト本部
〒521-0015 滋賀県米原市米原西23
Tel: 0749-52-3663 Fax: 0749-52-3804
<http://www.nihonsoft.co.jp>

お問い合わせは

※本文中に記載されている会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。